

## ② 耐風圧力性能試験

「構造計算を評価する150回サイクルの標準試験により安全性を検証」

### 【標準試験の概要】

瓦の不具合は強風時、繰り返しの風圧力によって発生し試行実験の調査によると100回程度の繰り返しで発生する

上記の検証が出来るよう安全側の設定で150回サイクルとし、外力の吹き上げ力と同等と見られる力で引き上げる試験をする。

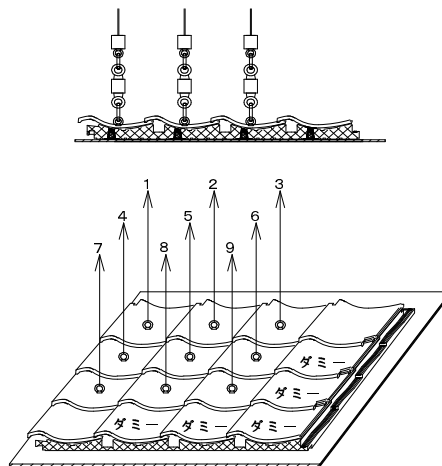
### 【試験方法】 [A類]

注入工法により接着剤を一定のスペースに一定量注入した試験体（養生期間30日）を加力装置を用いて 3,367N/9枚の荷重までの150回繰り返し引き上げ加力を行う（間隔1,000N/10秒程度以上）

150回 繰り返し引き上げ荷重

### 【試験体】

瓦・・・石州和瓦J型JIS53B型  
下葺き材・・・ヤネフキ名人  
緊結・・・専用接着剤M-11  
下地・・・合板12mm



### 【試験値】・・・成績書添付

有効瓦枚数の働き面積をダミー瓦を含め14枚分（0.866㎡）として面積換算する

[評価]

[A類]	<b>【3,887N/㎡】</b>
	瓦全数注入・瓦全数接着
[B類]	<b>【2,278N/㎡】</b>
	瓦1枚毎注入・瓦全数接着

(常滑窯業技術試験センター)